

2021年4月21日

各位

会社名 東京センチュリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 野上 誠
(コード番号 8439 東証1部)
問合せ先 広報IR部長 山下 圭輔
(TEL03-5209-6710)

大分県中津市との「中津終末処理場消化ガス発電事業」に関する事業開始について

当社と月島機械株式会社(代表取締役社長:福沢 義之、以下「月島機械」)の共同出資により設立した当社連結子会社である「TC 月島エネルギーソリューション合同会社」(以下「TC 月島エネルギーソリューション」)、月島機械、ヤンマーエネルギーシステム株式会社(以下「ヤンマーエネルギーシステム」)の3社で構成する企業グループ(以下「企業グループ」)が、大分県中津市(市長:奥塚 正典、以下「中津市」)と「中津終末処理場消化ガス発電事業」(以下「本事業」)を開始いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

本事業は、企業グループが中津市から事業用地の提供を受けるとともに、下水処理場で発生する消化ガス(バイオガス)を中津市から購入し、20年間の発電事業を行うものです。企業グループが有するファイナンス機能や事業運営ノウハウを活用して発電設備を建設し、発電した電気は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく固定価格買取制度(FIT)を利用して、電気事業者に売却します。下水汚泥処理の過程で発生するバイオガスは、メタンを主成分とする発電可能な可燃性ガスであり、このような未利用の再生可能エネルギー源を有効活用することにより、地球温暖化対策にも貢献できる事業であります。

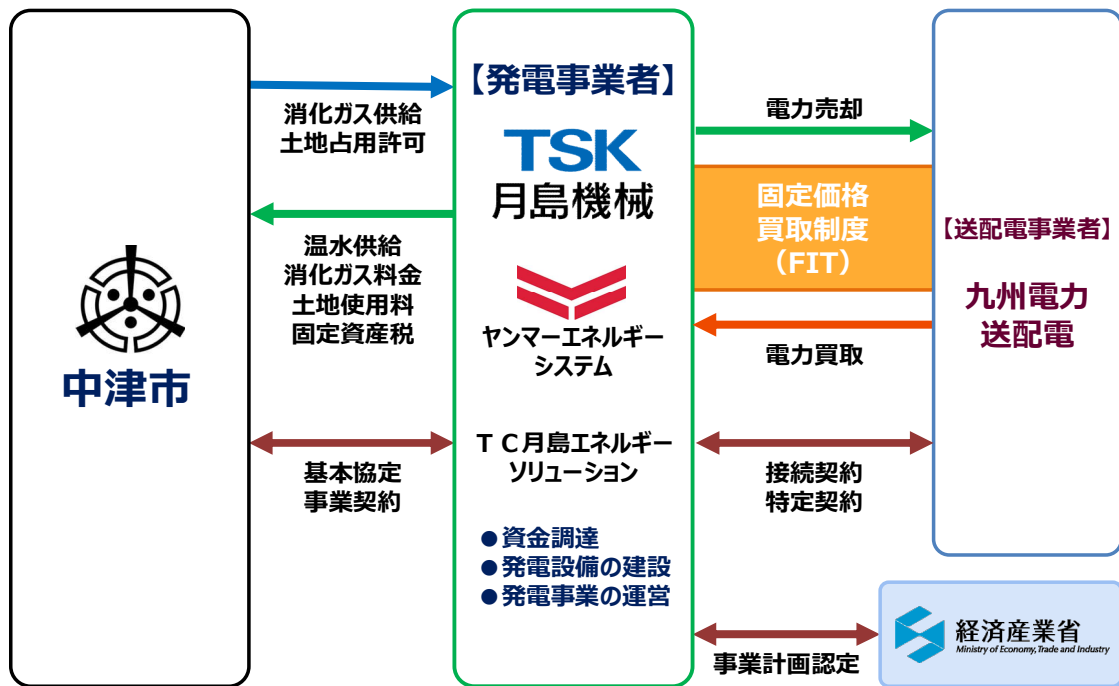
当社と月島機械は、2017年5月に両社の事業の推進を目的に業務提携契約を締結し、2018年5月に「埼玉県中川水循環センター消化ガス発電事業」における共同事業化を実現しております。今回の本事業は、2018年8月に消化ガス発電事業の更なる強化を目的として、共同で設立したTC 月島エネルギーソリューションが、消化ガス発電事業に参画する初めての事例です。

今後とも、月島機械との協調関係の更なる深化を目指し、消化ガス発電事業の拡大と温室効果ガスの削減などの社会課題の解決に注力してまいります。

当社は、新・第四次中期経営計画における国内リース事業分野の重要テーマとして、「リースビジネスのバリューアップと共創ビジネスの加速」を掲げております。今回の月島機械、ヤンマーエネルギーシステムとの共同事業は、リースビジネスのソリューション・サービス機能の拡充と再生可能エネルギー事業への取り組みを加速するものであり、引き続きSDGsの目標達成に繋がる「低炭素社会の実現」に貢献してまいります。

■本事業の概要

1. 事業名 : 中津終末処理場消化ガス発電事業
2. 事業場所 : 大分県中津市大字大塚 690 番地(中津終末処理場内)
3. 施設概要 : 消化ガス発電設備 1式設備容量 49kW (ガスエンジン 24.5kW×2 台)
4. 年間発電量 : 約 42 万 kWh (一般家庭 約 120 世帯相当)
5. 発電事業期間 : 2021 年 4 月 ~ 2041 年 3 月(20 年間) を予定
6. 事業スキーム



消化ガス発電設備

以上